

さらにJICAは、カイロ中心部とピラミッドを臨むGEMがあるギザ、郊外の衛星都市を結ぶ「カイロ地下鉄4号線」の建設を円借款で支援することを決定。カイロ市内は、年間の人口増加率が2.2%、人口密度も高く慢性的な交通渋滞が深刻な問題になっている。4号線が開通すれば人の移動がスムーズになるだけでなく、渋滞の緩和により陸路の物流が活性化し、経済効果も期待できる。また4号線では、新しく日本の

市街地とギザを結ぶ地下鉄を建設

蔵が予定されている遺物の保存や修復、データベース化も08年から支援している。「遺跡から出土したモノをそのままにしておく」と、害虫や微生物によってダメージを受けてしまう恐れがあり「まず」と松田泰典JICA専門家。JICAはGEMに併設する保存修復センターに専門家を派遣し、収蔵品の保存修復や殺虫・殺菌処理、館内の生物環境調査などに必要な技術を伝えている。また、移動時に破損しないための梱包・移送技術も移転。「常に『万が一』を考えて収蔵品を丁寧に扱う必要がある」と松田専門家。JICAの支援が始まって3年、エジプト人にも『万が一』の精神が根付きつつある。



現在ではこここのガバースーメドニン間の道路。この区間を整備することで、ヨーロッパからの観光客誘致にもつなげたいと期待が寄せられる

エジプトだけではなく。経済成長の基盤となるインフラの不足は、アフリカ全土の問題でもある。中でも、道路などの国境を超える広域インフラの整備が急務とされており「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)」のフォローアップとして、日本も同分野への支援強化を表明している。

北アフリカをつないで物流の活性化を図る

地下鉄における防災基準の採用が検討されている。そこで2011年11月に10日間、エジプト地下鉄、消防庁、運輸省、トンネル公団から研修員が来日。東京メトロや都営大江戸線、横浜市営地下鉄などの防災対策を視察した。「日本は防災訓練をしっかりと実施している。災害時に冷静に対応するためには、事前のシミュレーションが大切だと感じた」と研修員たち。防排煙設備などの防災技術や、密に計算された地下鉄の運行計画などに刺激を受けていた。

アトラス山脈を境に貧富の差が問題となっているモロッコでは、地方部のインフラ整備にも取り組んでいる。高速道路、国道、州道は舗装率が8割を超えるものの、県道など地方道路の整備・改良が大幅に遅れているためだ。

モロッコで地方へのアクセスを改善

これを受けて現在、JICAは国際機関や他ドナーと協働で、エジプトとモロッコを結ぶ「アガデイルーカイロ開発回廊」の整備を行っている。すでにJICAは、チュニジアのエルジェムースファックス、モロッコのマラケシユニアガデイル間の高速道路が円借款で整備され、他の区間も世界銀行やアフリカ開発銀行、アラブ経済社会開発基金などの支援により建設が進められている。さらに、チュニジアのガバースーメドニン間(84キロ)の高速道路の整備も円借款を通じて予定されている。南北の格差が大きいチュニジアで、首都チュニスと南部



あぜ道続きだったモロッコの地方道路(左)も、JICAの支援により整備が進んでいる(右)

JICAは、道路アクセス率が低く貧困率の高い地域を対象に、地方道路の整備・改良を実施中。地方部の住民の交通アクセス向上はもちろん、都市・地方間の移動が活性化することで経済開発が進み、地域間格差是正につながることを目指している。

*

雇用促進、産業育成、投資促進がアラブ諸国の国力の源となり、その恩恵が一人一人の生活向上につながる。JICAは今後も現地のニーズに応じながら、持続的な支援を強化していく方針だ。

エジプトの重要な観光資源であるギザのピラミッド。2015年にはこのすぐそばに「大エジプト博物館」がオープンする予定

※ 正式名称はThe Grand Egyptian Museum。

博物館の収蔵品の維持管理を日本人専門家から学ぶエジプト人の技術者たち



チュニジア人の青年の焼身自殺をきっかけに、次々と明るみになった市民の不満。この歴史的瞬間を目の当たりにした人々は、今、未来への希望に満ちあふれている。しかし、新しい国をつくる『といっても、そう簡単ではない。都市と地方の経済格差、雇用問題、食料価格の高騰。民主化運動の発端となった市民の不満を是正するためには、国を挙げた中長期的な取り組みが必要だ。日本政府はアラブの春を受けて、各国の経済の底上げに貢献すべく、雇用促進や産業育成のために新たに10億ドルの支援を表明。JICAは円借款によるインフラ整備を進めている。

その一例として、エジプトで取り組んでいるのが、国の経済を牽引してきた観光産業への支援だ。アラブの春以降、大幅な観光客の減少に直面しているエジプト。このままでは、さらなる雇用の喪失、経済の低迷は避けられず、主要な外貨収入の手段である観光産業を回復させることが急務となっている。

エジプトが世界に誇る歴史的遺産の多くは、首都カイロの市街地にある「エジプト考古学博物館」に収蔵されている。しかし開館から100年以上が経過した今、施設の老朽化が激しく、次々に発掘される遺物の収蔵スペースも限界に達している。エジプト政府は「大エジプト博物館(通称GEM※)」の建設を決定し、JICAは円借款を通じて支援することになった。総敷地面積は50平方キロメートル。2015年には、市街地から約15キロ、かの有名な「ギザの三大ピラミッド」のすぐそばに、巨大な博物館が誕生する予定だ。

さらにJICAは、GEMに収蔵されている

経済格差をなくすための投資環境整備



観光開発で産業振興を図る

from EGYPT & TUNISIA & MOROCCO

未来に向けて国力をはぐくむ

経済・社会への不満が生み出した民主化運動。これから新たな国づくりを進めていくには、市民一人一人のニーズに応じた取り組みが重要だ。JICAは雇用促進と産業育成、投資促進に着目し、アラブ諸国全体の底上げにつながる支援を目指す。



カイロ地下鉄は一律約15円。市民の足として定着している。今後、日本の支援により路線が拡大されれば、その経済効果は計り知れない